

ここが聞きたい!!

4名が登壇

防災計画の徹底を！

安本貞敏 議員

問 今後、予想される東南海・南海地震への対応、住民への避難場所、誘導はどのようにするか。緊急時の食料の調達、備蓄の状況はどうなっているか。

答 周防大島地域防災計画に基づいて、震度、津波の有無により職員の参集基準や活動内容を定めている。

例えば、休日又は夜間に震度6弱以上の地震が発生し、津波注意報又は警報が発令され、交通途絶状況にある場合は、全職員最寄りの庁舎に出勤して、出勤途中の被害状況の報告を行い、その後それぞれの災害対策に従事する。住民への避難誘導の方法については、防災

無線により迅速かつ正確に情報伝達を行い、必要な場合には避難指示、避難勧告を行う。



昨年8月に各戸へ配布した地震防災マップを参考にされ、平素より確認をして欲しい。

備蓄食糧の状況及び調達方法については、一部東日本大震災の支援物資として提供した。食糧・飲料水の供給は被災者の生命維持を図る上で、最重要と考えている。

このほか、公衆トイレの設置について質問を行った。

上関原発は要りません、町民の立場の堅持を！

広田清晴 議員

問 東日本大震災は原発の安全性が確立していないことを事実をもって万人に示した。町長の原発に対する安全性への認識は。

答 東日本大震災では、「安全神話」はもろくも崩れた。国は厳格な安全基準を国民に示し、安全対策について国の説明が大事と考える。

問 町民の安全・安心を守る立場から、山口県と中国電力に対し、上関原発建設中止の申し入れをするよう求める。

答 上関原発の是非は、福島第一原発の状況を考えると、放射能の拡散被害は当該町(上関)のみならず広範囲に亘っているため、周

防大島町民の安全安心が大前提と考える。

問 東日本大震災に、引き続き長期の支援を求める。

答 義援金や支援物資も必要だが、今後は人的支援が必要。それぞれの課で調整がつけば引き続き、積極的に派遣をする。

問 町立病院の運営の基本は町民の信頼と病院に働く職員の信頼が不可欠。努力を求める。

答 無料バスの運行、院内処方、患者給食も地産地消を行っている。

医師の確保は消化器系内科、整形、泌尿器科等が不足、今後も努力。看護師確保は、看護学校の卒業生が院内研修中なので、今後期待している。

